



令和7年度 富山市立水橋西部小学校

天瀬っ子

学校だより 5月号



「他の人は自分にはないものを持っている。自分もまた他の人にはないものを持っている」

校長 北岡 明

4月当初、子供たちに「この1年間大事にしてほしい構え」として、上記の言葉を投げかけました。続けて、「同じ授業で学んでも、同じドラマを見ても、同じ食べ物を食べても、感じ方や考え方は人それぞれです。どう感じたか、どう考えたかをどんどん出し合って、他の人にとって君にないもの、君にとって他の人になんないものをたくさん見付けてください」と話しました。このような構えで1年間を過ごすことが、自分や他の人のかけがえのなさに気づき、ひいては、水橋西部小学校やこの校区の一員であることに誇りをもち、統合校への前向きな気持ちにつながると考えたからです。

ある日の聴き合いタイム（感じたことや考えたことを自由に交流する時間）、「家族と楽しんだクレーンゲーム」についてうれしそうに語る3年生の子供がいました。また、別の日のあるクラスでは、「進級して成長したこと」を恥ずかしそうに話す子供、「ゲームのボスがかっこいい」と興奮気味に話す子供もいました。同時に、話す友達にしっかり身体を向けて聴く友達がたくさんいました。自分ならではのものの見方や考え方をのびのび話す子供たちの熱気と、それを聴く子供たちの温かい雰囲気が教室を満たしていました。



【聴き合いタイムの様子（4年生）】

この子供たちなら、この1年間でさらに自分と友達のよさを見付けていくに違いありません。そして、この水橋西部小学校が子供たちのかけがえのない思い出になるでしょう。



「優勝するぞー！！」
「オー！！！！！」

【結団式より】



じゃんけん列車で1位になったFさんと
温かい祝福の拍手を贈るみなさん

【全校集会より】